



Overseas Fishery Cooperation Foundation of Japan

評価報告書

ツバル

— 2019年度 地域巡回機能回復等推進事業 —
(終了時評価 2020年4月)

事業概要

国名	ツバル
プロジェクト名	2019年度 FDAPIN VI プロジェクト
実施期間	2019年7月26日(覚書署名)～2020年3月31日
相手国政府覚書署名 省庁名及び実施機関	覚書署名省庁：天然資源省 実施機関：天然資源省漁業局

プロジェクト実施の経緯と背景



ツバル政府は、「2016～2020 国家戦略 TE KAKEEGA III」の「天然資源」に関する目標としてツバル天然資源の管理及び持続的利用による社会経済的リターンの最大化を掲げており、水産分野では以下の8項目をその具体的内容としている。

- (1) 漁業収入の増大
- (2) 離島漁民の現金収入増大を含む、組織化、管理開発
- (3) 外国漁船乗船のための船員育成
- (4) 漁船オブザーバー
- (5) WCPFC 規則の遵守
- (6) EU 漁業規則の遵守
- (7) 漁獲物衛生基準の確立
- (8) 沿岸漁業保護

また、天然資源省漁業局による「年間業務計画 (Annual Work 2018)」でも「漁業振興と管理」等が計画され、計画では離島を含む全島が対象となっている。

このような戦略や計画の下、同国政府は各種の漁業振興施策を実施しているが、同局が所管する船舶やワークショップ、製氷施設及び地域漁業センター等の水産関連施設は、老朽化に伴う故障や運営管理の不備により本来の機能を発揮することができず、漁業の開発・振興に支障を来している。

このため、ツバル政府は、公益財団法人海外漁業協力財団（以下「財団」という。）に対し、水産関連施設等の修理・修復及び技術移転並びに漁民組織への指導・助言についての支援要請を行った。

財団は、我が国とツバルとの漁業関係の重要性に鑑み、同国天然資源省の漁業振興策を支援するため、本プロジェクトを実施した。

目標・成果・活動内容等

上位目標	修理・修復対象施設周辺地域の漁業の生産性が向上し、小規模漁業が発展する
プロジェクト目標	水産関連施設が修理・修復され、当該施設の維持・管理に係る技術が向上する 水産関連施設の管理・運営が改善され、活性化・自立化が促進される
成果	①フナフチ製氷機の修理・修復及び技術指導 水産局製氷機の整備及び当該施設の維持・管理に係る技術が向上した。 ②多目的船マナウイ号の修理・修復及び技術指導 マナウイ号の整備及び当該船舶の維持・管理に係る技術が向上した。 ③漁獲物の付加価値向上と沖合漁業の活性化に係る訓練及び助言 水産局職員及び漁業者に対し、電動リールによるキハダマグロ竿釣り、ソデイカ樽流し漁、離島での曳き縄漁具作製の訓練及び助言を行い、新たな漁法を紹介した。また、水産局職員及び漁業者に対し、離島での魚燻製品製造の訓練及び助言を行い、水産物の加工技術が向上した。
活動	①フナフチ製氷機の修理・修復及び技術指導 結氷板一式の交換作業、真空テストと製氷試運転、旧結氷板の漏れの原因究明のための調査及び関連技術の指導を行った。 ②多目的船マナウイ号の修理・修復及び技術指導 はしけの換装、エアーコンプレッサー、アーク溶接器の交換及び関連技術の指導を行った。 ③漁獲物の付加価値向上と沖合漁業の活性化に係る訓練及び助言 未利用資源の漁獲方法及び効率的な漁法を導入した。また、燻製加工方法、燻製製品の真空包装方法も指導した。
投入	財団側

<p>1) 専門家 計画 第1回巡回指導：チームリーダー／漁船機関専門家 漁業普及技術者 2019年10月中旬～11月中旬（約40日間） 第2回巡回指導：チームリーダー／漁船機関専門家 漁船機関・冷凍機器専門家 2020年2月中旬～3月初旬（14日） 実績 第1回巡回指導：チームリーダー／漁船機関専門家 漁業普及技術者 2019年10月25日～11月29日（36日） 第2回巡回指導：チームリーダー／漁船機関専門家 漁業普及技術者 2020年2月4日～2月22日（19日） 漁船機関・冷凍機器専門家 2020年3月9日～3月24日（16日） 延日数 計画：（108人・日） 実績：（126人・日）（計画対比：117%）</p> <p>2) 主な資機材 結氷板、はしけ（船外機付き16ft FRP ボート）、溶接機、エアコンプレッサー、電動リール、中層曳き縄漁具作製材料、燻製箱と乾燥棚作製材料等</p> <p>3) 事業費 予算額 15,135 千円 実績額 15,184 千円（予算対比：100%）</p> <p>相手国側</p> <p>1) 主なカウンターパート ①フナフチ製氷機の修理・修復及び技術指導 Foreman of Fisheries Workshop Principal Fisheries Officer ②多目的船マナウイ号の修理・修復及び技術指導 Foreman of Fisheries Workshop Principal Fisheries Officer</p>
--

	<p>③漁獲物の付加価値向上と沖合漁業の活性化に係る訓練及び助言 Fisheries Officer 2名 FOFA (Fishermen of Funafuti Association) 組合長 FOFA 組合員 1名</p> <p>2) プロジェクト関連予算、土地、施設等 ワークショップ等漁業局施設の電気・水道・電話等の無償提供</p>
--	---

評価事項

◆ 妥当性

1. 対象国政府の水産振興政策との整合性

本プロジェクトは、ツバルの国家戦略に基づき、漁業局の活動を支援するものであり、妥当と判断される。

2. 協力ニーズ（対象国、対象地域）との整合性

2016～2020 国家戦略 TE KAKEEGAMIII では離島漁民の現金収入増大及び組織化が提唱されており、水産関連施設の修理・修復及び技術移転並びに漁民組織への指導・助言を要請された。事前調査において水産局製氷機及び多目的船の整備並びに技術指導、水産局職員と現地漁業者に対する漁具作製と魚燻製加工の訓練及び助言に対する協力ニーズが高いことが確認されている。

3. 環境に対する配慮はなされていたか

本プロジェクトでは、直接環境に影響を与える活動はなく、廃棄部品等及び回収されたフロンについても専用回収容器を用い適切に処理し、常に環境保全に配慮している。

4. 水産資源に対する配慮はなされていたか

本プロジェクトは、水産関連施設の機能回復を図り、その運営・管理に対する助言を行うものである。今回の対象は、製氷施設及び多目的船が主であり、周辺水域の水産資源に対する負荷を大きくするなどの影響を与えるものではない。また、漁具作製方法の訓練及び助言は、リーフ魚の資源減少に配慮して、外洋性の魚種を対象にした漁法の導入を狙うものであり、資源保護については十分に配慮している。さらに、水産加工についても従来の塩乾干しや伝統的な燻製による加工の代替策となるものであり、水産資源に対する負荷を大きくするなどの影響を与えるものでない。

5. その他（プロジェクト関連予算、土地、施設等受け入れ態勢は決められたとおりに実行されたか等）

特になし。

◆ 効 率 性

1. 事業費及び実施期間

事業費は予算をわずかに超過した。実施期間については、第1回巡回指導後、新漁具・漁法の定着にはさらなる指導が必要と判断し、追加の担当技術者を派遣した結果、計画を超過したことから一部効率的でない部分があった。(予算及び計画対比：事業費100%、実施期間117%)

2. 資機材、施設、専門家はタイミングよく投入され、期待された機能、能力を発揮していたか

資機材及び専門家は、タイミングよく投入され、プロジェクト活動は計画期間内にすべて完了し、それぞれ期待された機能及び能力を発揮した。

3. 移転技術はカウンターパートの習得水準に適合していたか

巡回指導及び漁業普及とともに、専門家が事前調査においてカウンターパートの技術水準を見極めた上で移転技術の指導内容を検討しており、実施に当たっては適切な指導が行われたことから、カウンターパートの水準に適合していた。

4. 状況の変化、教訓・提言等に応じて実施計画、活動項目は、適宜見直されていたか

第2回巡回指導での漁労技術指導は、荒天のため洋上での指導を断念し、陸上での漁具作製を中心に対応する等計画を適宜見直した。

5. その他（プロジェクトの効率性に影響を与えたと考えられる貢献・阻害要因等）

水産局ワークショップの整備及び技術指導にあたるカウンターパートは、昨年度財団がパプアニューギニア独立国の National Fisheries College で実施した製氷機講習会に参加し、技術水準が向上したことから今次プロジェクトで技術的に貢献し、効率性が一層高まった。

◆ 有 効 性

1. プロジェクト目標の達成度

① プロジェクト目標の達成度

プロジェクト目標：水産関連施設が修理・修復され、当該施設の維持・管理に係る技術が向上する

計画どおり水産関連施設の機能が回復し、必要な技術移転が行われ、技術指導によるカウンターパートの知識及び技術レベルが益々向上したことから、プロジェクトの目標

は達成された。

プロジェクト目標：水産関連施設の管理・運営が改善され、活性化・自立化が促進される

漁業局のカウンターパート及び現地の漁業者に漁具の作製方法、洋上での漁法及び魚獲物の燻製加工方法に関して指導し、カウンターパートらの基礎知識及び技術レベルが益々向上したことから、プロジェクトの目標は達成された。

② その他（プロジェクト目標の達成度と外部要因との関係等）

ツバルは、年明け以降サイクロン等により荒天となる可能性が高いため、特に洋上での漁労技術指導は年内の実施が効率的であると思料される。

2. プロジェクト活動項目及び期待された成果の達成度

① フナフチ製氷機の修理・修復及び技術指導

期待された成果：水産局製氷機の整備及び当該施設の維持・管理に係る技術が向上する。

施設の修理・修復を行い、漁業局のカウンターパートに修理・修復に関する技術指導を行ったことにより、技術レベルが向上し、施設の稼働及び維持・管理が円滑になった。

② 多目的船マナウイ号の修理・修復及び技術指導

期待された成果：マナウイ号の整備及び当該船舶の維持・管理に係る技術が向上する。

船舶関連設備の修理・修復を行い、漁業局のカウンターパートに修理・修復に関する技術指導を行ったことにより、技術レベルが向上し、船舶及び関連設備の稼働並びに維持・管理が円滑になった。

③ 漁獲物の付加価値向上と沖合漁業の活性化に係る訓練及び助言

期待された成果：水産局職員及び漁業者に対し、電動リールによるキハダマグロ竿釣り、ソデイカ樽流し漁、離島での曳き縄漁具作製の訓練及び助言を行うことにより、新たな漁法が紹介される。また、水産局職員及び漁業者に対し、離島での魚燻製品製造の訓練及び助言を行うことにより、水産物の加工技術が向上する。

漁業局のカウンターパート及び現地の漁業者に漁具の作製方法、洋上での漁法、魚獲物の燻製加工方法の指導を行ったことにより、新たな漁法が導入され、併せて水産物の加工技術が向上した。

◆インパクト

1. プロジェクト上位目標の達成に対し、プロジェクト目標の達成の効果はどの程度見込まれるか

本プロジェクトの実施により、水産関連施設が修理・修復され、管理・保守に関する技術が向上したほか、新たな漁法が導入され、また、水産加工品の加工技術が高まったことから、プロジェクト目標は達成された。

今後、製氷施設及び多目的船が安定的に機能し、導入された漁法や水産物の加工法が定着すれば、上位目標である修理・修復対象施設周辺地域の漁業生産性の向上、小規模漁業の発展に一定の効果を及ぼすとともに、漁業局が策定した年間業務計画に掲げる「漁業振興と管理」の達成にも寄与する。

2. プロジェクトは相手国・対象地域の政策形成、社会・経済等でどのような直接的・間接的な効果または負の影響が見込まれるか

本プロジェクトの実施により、施設の維持・管理方法及び漁具の作製や漁法に関する技術の移転がなされた。これにより外洋性魚種の漁獲量が増え、漁民の所得が向上すれば、対象地域の経済に対する直接的な効果の発現が見込まれる。燻製魚については、離島漁民の首都への輸送手段が様々な制限を受ける中、新たな保存食としての流通が見込まれ、技術移転により離島漁民の現金収入増大による経済に対する直接的な効果の発現が見込まれる。

今回沖合漁業対象の漁具を導入した離島（バイツプ島）は鮮魚の供給が不足している島であり、今回の技術協力により同島における食料の安定供給への寄与が期待される。

3. その他（ターゲットグループに対するインパクトや、プロジェクトの計画当初予見できなかった効果または負の影響が見込まれるか等）

特になし。

◆ 持続性

1. プロジェクト終了後もカウンターパート及び供与された資機材は有効に活用されるか

カウンターパートは漁業局の職員で、プロジェクト終了後も引き続き本施設の管理を担当する予定である。

供与された資機材は、製氷機及び多目的船の稼働及び維持・管理、漁具の作製、新たな漁法による操業及びワークショップの稼働及び運営・管理に必要なものであり、プロジェクトを通じてカウンターパートに適切に技術移転されたことから、プロジェクト終了後も有効に活用される。

2. プロジェクト終了後も効果は持続される見込みか

本プロジェクトにより施設の機能が強化され、継続的な活動を可能にする人的・物的環境が整備された。また、ツバル政府は外洋性魚種を対象とする漁業に関する技術の重要性を認識しており、漁業局では今後も漁具の数を増やし、引き続き操業を行う方針としている。さらに、同政府はワークショップ等水産関連施設の継続的運用が同国の沿岸漁業振興

に不可欠であることを認識しており、財政支援を積極的に行うこととしている。したがって、本プロジェクト終了後も、この効果は持続的に発揮される見込みである。

3. その他（持続性に影響を与えると考えられる貢献・阻害要因等）
特になし。

以上